

谷川連峰 平標山～ユウガイヒト沢

中村

【日時】 2008年3月2日(日)

【メンバー】 L/田辺、矢野、大田原、中村

昨日は平標沢を予定していたのだが、大雪のため玉原スキー場の裏山、夜後沢に転進し、短いながらもパウダーを味わった。今日は赤谷源頭を計画していたが、この積雪量。雪崩が心配なので、エスケープしやすい平標沢行くことになった。

本日のみ参加の矢野君と、元橋で落ち合う。昨夜からの強風がまだ吹いているが、青空が徐々に広がりつつある。利香さん先頭で、小学校の校庭を横切り、いつもの別荘地に入る。雪は今年の同時期よりも少し多い。



ヤカイ沢の雪原の奥で先行者に追いつく。矢野君がガンガンとラッセルをして、あっ

という間に西尾根に乗る。風を避けるため木陰で休憩。森林限界を超えたあたりでクトーを装着。クトーを持っていない私は、念のためツボ足アイゼン。山頂に着くころには空は快晴となる。いつ来ても風が強いが、今日も強風である。休憩も早々に切り上げ、滑走準備に取り掛かる。この時点で11時。遅いペースではなかったが、平標沢は林道歩きが長い。トレースが無ければ、ラッセル必至でもある。そこで、藪を覚悟でサブルートの上居へ下りる北面ルートを下りることにした。



矢野君

山頂から北へ北へと、強風とアイスバーンと切り落ちた足元の斜面に緊張しながらトラバース。松手山からの尾根が合流するピークを超えると、先ほどの強風が嘘のようにピタリと止む。ここからさらに尾根の先までさらに進むが、左手に快適そうな沢型地形が見える。樽ノ沢である。地図を見ると、上部は良さそうだがすぐに沢型が深くなり、快適ではなさそう。目先の欲を振り切り、ユウガイヒト沢のドロップポイントに到着。空は快晴、展望抜群。春のような暖かさ。快適な場所である。ここまで滑ってきた感触からすると、雪質も良さそうだ。



大田原さん



利香さん

さあいよいよ滑走。予想を上回るパウダーだ。雄叫びをあげ、動画を撮影しあいながら、どんどんと下りる。上部は結構急で雪崩も心配な感じであるが、標高差500m快適な斜度がずっと続き、心配された藪はほとんどなかった。斜度が緩むと林道となるが、運のいいことにトレースが付いていた。このトレースを使わせてもらって、簡単に二居の集落へ。

田代スキー場からのスキー客の車をヒッチハイクして、車を回収。

【行程】 元橋(7:50)～平標山頂(11:00/11:30)～ユウガイヒト沢ドロップイン地点1757P(12:10/12:30)～林道出合(13:05)～二居(13:20)

【地図】 三国峠



中村